設計・施工
(有)夢木香（ゆめきこう）

伝統構法に学ぶ
住まい楽（がく）
その4

文・荒野一星

おさまりの良さ

大卒後、就職。家を出て以来50年。2年前に八戸の生家を再生しようと決意した井手良治さん。再生なった一昨年12月、半世紀ぶりに我が家への帰還を果たした。

再生後の井手家で1年を過ごした良治さんに、その住み心地を話していただいた。（第5回夢木香セミナー「四季を感じる住まい方講座」2010・12・5）

「木・土・紙の自然素材で出来た家は、家全体が温度・湿度を調節しながら、寒暖差を包み込むように和らげてくれる…そう観じます。

厚さ20cmの土壁が温もりをじわーっと吸収して、夜になるとじわーっと放出してくれる。風呂場や廊下のガラス戸も結露しませんし、冬も炬燵ひとつで過ごせます。夏の猛暑時には、何度かクーラーも点けましたが、ほとんど扇風機だけで過ごせてしまう。4cm厚の杉板の廊下は、夏はひんやり感、冬は逆に、素足で歩いても温もりを感じる…

木は伐採後も、フィトンチッドという蘇生物質を放出しているそうですが、その意味では、24時間居ながらにして森林浴をしているようなもの（笑）。女房ともよく言うんですよ、森の中に住んでるのといっちょん変わらんね、と（笑）。孫は5人共、腕白盛りの男の子ですが、ここに来ると大喜びで走りまわっている…（笑）。心身共に快適な生活を送っています。

古民家の醍醐味は、何と言っても、この現しの木組みのすばらしさ。

天井の最上部にあるくねった梁を起点にして、梁や柱が自然の木立ちのように組んでありますが、シンメトリックではないのに、アンバランスの中にバランスがとれている。見事におさまっている。

柱や梁だけじゃなく、床板、壁板に至るまで、古材、新材とり混ぜて、ひとつとして同じものはない。中には一瞬ごきぶり？（笑）と思ってしまうような節だらけの新材もあるし、120年前の創建時、既に古材だったものもある。はじめ、新材・古材の白と黒のバランスを気にしたんですが、『4、5年経つと、良か味になりますよ』と、松尾さんに言っていただいて…確かに、月日が経つうちに、ちゃーんとおさまってくる。

何度見ても飽きない。我が家ながら、凄いね！楽しいね！と（笑）。

漆喰壁の白さも堪能しています。朝日、夕日、満月、新月…その度に外に出て眺めては、よかねー、と（笑）。満月の時なんか、前に住んでる弟から声がかかるんです（笑）。月に照らされたいぶし瓦と白壁の柔かい輝きは、本当に美しい。見ているだけで心が和みます。土間の三和土（たたき）（土砂・消石灰・にがりの三つが和した土）も、皆さん『よかですねー』と言って下さる。固くて、固くない。コンクリートとちがった柔らかみのある固さ…

この1年程で、1,000人からの方々が我が家を見に来ていただいています。この家のご縁で来ていただいてるなー、ありがたいなー、と。『よくぞ、こんな家を残してくれたねー、ありがとう！』と言ってもらった時は、本当にうれしかった。毎日毎日、感謝の日々です。」

良治さんの笑顔に「マツり」を観た。再生された井手家は、作り手、住み手、近所の人々、見学に訪れる人々…すべてと「マツり」あい、見事におさまっている。

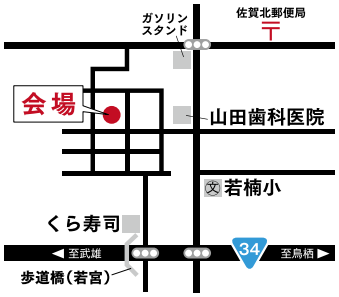
※マツり＝「真釣り」＝「調和する」こと。天と地、人と自然、タテの自分（先祖～子孫）とヨコの自分（兄弟姉妹～人類・動植、鉱物）を「真に釣り合わせる」こと。日本人の原点とも言うべき観性。

有限会社　夢木香

日本民家再生協会正会員
佐賀県鹿島市大字三河内甲2847
http://www.yumekikou-happy.com
0120-835-832
TEL:0954-69-8333　FAX:0954-69-8334
E-mail:yumekikou@globe.ocn.ne.jp

第8回　夢木香セミナー
壁塗り体験会

日時：平成23年4月17日(日)
10:00～17:00
場所：佐賀市若楠

会場は1月に構造見学会を実施した若楠の家。汚れてもいい服装、軍手持参でお出かけください。壁塗りの楽しさを堪能していただけます。

- 参加費無料。
- お問い合わせとお申し込みは夢木香までお願いいたします。